



栃木市議会議員

こだち孝之の きになる NEWS



No.7

発行責任者
 栃木市大平町富田898-4
 日立GLS労組栃木支部内
 電話 0282-43-3039
 小太刀 孝之
 編集者 山下智寛

新年号

ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。
 まず、この度の能登半島地震で被災された方々に、心からお見舞い申し上げますと共に、大変な状況が続いていますが、一日でも早い復興を心からお祈り申し上げます。

また、日頃から市議会議員の活動をお支え頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、長引いた新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に移行され、5月以降の社会経済活動はコロナ禍前の水準に戻って参りました。しかし、感染症への対策は各個人に委ねられており、今後も継続していく必要性があると感じています。また、様々な世界情勢の影響を受けて、原油価格や生活必需品の価格が高騰し、私たちの生活は一層厳しさの増した年となりました。栃木市では物価高騰対策として、国からの交付金を活用し、水道料金の基本料金分の免除や学校給食の食材高騰対策事業などの支援を実施しました。物価高騰だけでなく、紛争や戦争も継続しており、一日でも早く収束を迎えることをお祈り致します。

本年も働くものの代表として、組合員、従業員および地域の皆さまの声を届けるため、身近な市議会議員として市政とのパイプ役を担い、栃木市の課題改善に向けて全力で取り組んで参ります。

皆さまからの変わらぬご支援を宜しくお願い致します。



謹賀新年
2024

©2014栃木市とち介

【こだち市議へのご支援を】

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
 こだち孝之市議は、働く者、生活者の代表として私たちの声を栃木市や議会に届け続け、積極的に活動を進めています。

一方で、世の中を見ますと急激な物価高騰や地政学リスク、気候変動問題など、不安や課題の多い時代であると思います。ぜひ、後援会員の皆さまにおかれましては、お困り事などありましたら、直接でも組合を通してでも結構ですので、ご連絡頂ければと思います。

日立GLS労組栃木支部 執行委員長 黒須隆義

常日頃より、こだち孝之市議の議員活動に対しご支援ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、こだち市議にとって議員 2 年目の活動となり充実した 1 年となりました。

「きになるNEWS」で適宜発信の通り、栃木市の諸課題に対しては生活者の視点で議会に提言しながら解決に向け実績を上げていきます。引き続き皆さまからのご支援をよろしくお願い致します。一緒に栃木市を元気にして参りましょう！

日立JC労組栃木地区 副執行委員長 佐藤克典



中央：黒須委員長 中央右：佐藤副委員長

日立GLS労協として私たちは
こだち市議を応援しています！

一般質問報告



令和5年の3月定例議会から12月定例議会までの一般質問内容は下記表の通りとなります。4回の定例議会の全てにおいて一般質問に登壇し、10件の発言要旨を決め、24件の発言明細について質問を行いました。
(詳細の報告は12月定例議会の内容となります)

	発言要旨	発言明細
3月議会	ポリ塩化ビフェニル (PCB)廃棄物の適正な処理について	(1) 低濃度PCB廃棄物について
	市有施設および住宅の省エネルギー化について	(1) 具体的な電気使用量削減の取り組みについて
		(2) 市有施設 (市道を含む) 照明のLED化について
市道における安全確保と市役所駐車場の安全対策について	(3) 住宅の省エネルギー化の取り組みについて	
	(1) 信号のない横断歩道の安全確保について	
6月議会	本市における子育て支援拡充について	(2) 市役所立体駐車場の安全対策について
		(1) とちぎ吾一奨学金について
(2) ゆめ応援奨学金および住まいる奨学金について		
6月議会	女子野球国際大会開催について	(3) 貸与型奨学金の返還について
		(4) 通学版楽員 (らくちん) について
9月議会	生活道路の補修について	(1) 本市はこの大会に準備を含めどのように関わっていくのか
	本市の危機管理について	(2) 老朽化が進むとちぎ木の花スタジアムについて
		(1) 生活道路補修の優先順位について
9月議会	ゼロカーボンシティ宣言への意識高揚について	(2) 身近な生活道路 (私道や2項道路) の補修の在りかたについて
		(1) 市内道路の冠水に関する情報収集について
12月議会	学校教育のICT化について	(2) 市内道路の冠水に対する情報発信と対応策について
		(1) 市職員に対する意識高揚施策について
		(1) 配置されたタブレットの活用状況について
12月議会	介護のICT化について	(2) ICT化の支援体制について
		(3) 本市におけるGIGAスクール構想に対する進捗状況について
		(4) 今後の学校教育におけるICT化の課題と是正処置について
		(1) 介護のICT化の本市の現状について
		(2) 科学的介護情報システム (LIFE)について
		(3) 今後の介護のICT化推進について

12月定例議会一般質問

◆学校教育のICT化について



(1) 配置されたタブレット端末の活用状況について

【質問】

文科省国立教育政策研究所の調査結果によると、学校・教員のノウハウ不足や支援に対する人材の不足などにより、自治体間・学校間でオンライン教育の実施状況などに差が生じていることが明らかとなった。小学校の活用状況を都道府県別にみると、タブレット端末をほぼ毎日授業で活用している割合が70%を超えるところがある一方で、20~30%に留まっている県もある。本市におけるタブレット端末の活用状況を伺う。



【答弁】

昨年度末に実施したタブレット端末の活用状況に関する調査では、授業において全ての小学校で週2日から3日以上で活用している。そのうち毎日活用しているのは62%で、週に2日から3日使用している小学校は38%であり、毎日活用していると回答した学校においても、例えば低学年では週1回程度から始まり、子供の発達段階に合わせて活用の幅を広げ、高学年では毎日複数の授業で活用している学校もある。また、全ての小中学校でオンラインによる学習を実施できる体制が整っており、学級閉鎖時の学習や様々な理由で教室で授業を受けられない児童生徒の学習に活用している。

令和5年活動報告『市議会での取り組み』



式典の様子

【議会全体】

新斎場竣工式

令和5年9月14日に行われた、栃木市新斎場の竣工式に参加させて頂きました。老朽化が危惧されていた斎場に替わる新しい施設となります。式典にて愛称の発表があり、多数の応募があったなか、「あじさいの杜」と決定されました。なお、令和5年10月1日から供用が開始されました。



点検の様子

【議会全体】

栃木市消防団点検

令和5年10月29日に実施されました、栃木市消防団通常点検に参加させて頂きました。市民の生命・財産を災害から守る使命を持って活動されている消防団員の皆さまには、深く敬意と感謝を申し上げます。



中学生議員の皆さん

【議会全体】

栃木市中中学生議会

栃木県誕生から150周年の記念行事として、中学生議会を令和5年12月23日に開催しました。中学生の自由な発想をまちづくりに生かすと共に、中学生が主体的に行政課題に関わる機会を創出し、主権者として社会に参画して行く意欲の向上に寄与することを目的としたものです。市内各中学校の代表者14名が、執行部に対しテーマを決め一般質問を行い、意見をまとめ、栃木市中中学生議会宣言を行いました。



【産業教育常任委員会】

行政視察

令和5年10月30日から31日にかけて、産業教育常任委員会の研究テーマである「農業基盤の強化」および「学校教育の在り方」について新潟県新潟市のアグリパーク、三条市の小中一貫教育および集中一貫校（大崎学園）を行政視察させて頂きました。本市における農業の担い手不足や学校の適正配置、良好な教育環境の確保に大変参考となる内容であり、有意義な行政視察となりました。

『連合栃木下都賀地協での取り組み』

渡良瀬遊水地セイタカアワダチソウ除去作戦



地域貢献ボランティア活動の一環として、令和5年6月24日に渡良瀬遊水地で開催された第39回ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦（小山市）に組合執行部と共に参加致しました。これからも、地域に貢献していく活動を継続して参ります。

『GLS労協での取り組み』

年末助け合いカンパ



令和5年12月11・12日で行われました年末助け合いカンパに参加させて頂きました。12日はあいにくの雨となりましたが、多くの組合員・従業員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。このカンパ金は、栃木市及び福祉施設に家電品として寄贈させて頂く予定です。

年末助け合いカンパ金：327,107円

**12月定例議会で決まったこと
(主な内容)**

12月定例議会が12月1日～12月20日の会期で実施されました。審査した主な議案について報告致します。

**市庁舎の一部を商業
施設として貸付け**

議案第105号
財産の貸付けについて

可決 賛成22
反対 3

〈議案の概要〉

市庁舎一階の一部を就業施設として貸付けることについて議会の議決を求めるもの。

【主な質疑と答弁】

Q：市庁舎屋上の広告塔の貸付けの取り扱いはいは？

A：屋上広告塔については、一階の商業施設の貸付けと同様の平米単価および期間で契約している。

Q：市庁舎屋上の広告塔使用料は？

A：月額3万213円、年額で36万2,556円である。

**平井川排水施設
整備工事**

議案第106号
工事請負契約の締結について
(平井川排水施設整備工事)

可決 賛成24
反対 1

〈議案の概要〉

平井川排水施設整備工事に関し、工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるもの。

【主な質疑と答弁】

Q：入札参加資格を持つ事業者数は？

A：本工事は入札参加形態を構成員が2者の特定建設工事共同企業体としており、資格要件に該当する業者が36社あるため、最大8つの特定建設工事共同企業体を結成することができると見込んでいた。

Q：入札結果は？

A：2者から入札があったが、そのうち1者が無効となったため、1企業体の参加となった。

12月定例会で扱った陳情

※3つの陳情は民生常任委員会で審査を行い、定例会最終日の本会議において①は不採択、②③は採択となりました。

陳情① 健康保険証の廃止をしないように求める意見書を政府に送付することを求める陳情

【不採択とすべき】

・個人情報が入力される等、様々な課題があり陳情者の心情は理解できるが、行政手続きがデジタル化を推進する流れの中で、マイナ保険証の導入は必須である等の意見があり不採択とすべきものとなりました。

陳情② 国の2024年介護保険制度改正にあたり現在審議会で進めている介護保険制度改正案の抜本的な見直しを求める意見書を栃木市議会に要請する陳情

【採択すべき】

・介護現場は疲弊しており、またサービス利用料を利用者のみでは賄えず、家族が生活費から補填する状況はまさに保険あって介護なしであり、そういった状況を国に改善してもらうために地方議会から声を上げることは重要である等の意見があり全会一致で採択すべきものとなりました。

陳情③ 高齢者介護や障害福祉を支える職員の処遇改善のために、介護報酬と障害福祉サービス等報酬の引き上げを求める請願

【採択すべき】

・介護、障害福祉施設で働く職員の地位向上には賛成であり、産業別に見ても著しく賃金の状況は異常であると言わざるを得ない状況であり、普通に働けば普通に暮らせる社会は労働者にとっても生活者にとっても大切であり、この業界の賃上げを目指す声を上げていくのは大変重要である等の意見が出され全会一致で採択すべきものとなりました。